

## 水環境・湖沼（2）（1-B-10-4～1-B-11-4）

本セッションでは、ダム湖の富栄養化にかかわる発表が3件、農業集落排水処理水の再利用に関する発表が1件、そのほかに歯磨き剤など生活用品に含まれるリン酸態リンが水質に及ぼす影響について1件の発表があった。

1-B-10-4は、安定同位体を用いてダムの富栄養化の原因となる窒素の由来を調査した事例である。同位体を用いることにより、下層水への底泥からの寄与が大きいことを示唆した結果を得た。

1-B-11-1は、ダム湖の富栄養化対策である前貯水池の効果を検討した事例である。

1-B-11-2は、既存の水質自動観測データを用いた水質管理の検討であり、すでにあるインフラを有効に活かすという意味で実践的な発表であった。

1-B-11-4は、農業集落排水処理水の農業用水としての再利用の検討である。処理水が送水された溜池においては、底泥の性質に大きな変化が無く影響が小さいことを示した。この溜池の底泥に関しては、流域からの土砂の影響が大きいのではないか、などの指摘があった。

そのほかに1-B-11-3は、歯磨き剤などの生活用品に含まれるリン酸態リンについて検討した事例である。研磨剤にリン酸水素カルシウムやリン酸2カルシウムを使用した歯磨き剤および洗浄剤としてMAPを使用した洗顔料などリン含有量の多い生活用品は、植物プランクトンが利用するリン酸態リンに変化する可能性を示した。今後は、生活用品の選択が水環境に及ぼす量的な検討が期待される。

（土木研究所・河川生態チーム 中村 圭吾）